

## MBA 現代経営学演習 (2024 年度)

担当：坂井貴行

連絡先：sakai.takayuki@silver.kobe-u.ac.jp

### 1. 授業のテーマと目標

アントレプレナーシップのなかでも、特にアカデミック・アントレプレナーシップとそれに関連するイノベーションの創出が主な研究対象となります。アカデミック・アントレプレナーシップとは、大学や公的研究機関などから生まれる研究成果をもとに、新たな製品やサービスを生み出すことでイノベーションを創出しようとするものです。大学と企業の産学連携によるイノベーションの創出や、大学発スタートアップも含まれます。

MBA 現代経営学演習では、共通課題と個別課題の2つを同時並行で進めます。共通課題では、受講生の研究計画書に基づいて、上記の関連領域から、受講生の関心のあるテーマを設定し、基礎知識の習得を図るとともに、研究課題の明確化に努めます。個人課題では、専門職学位論文の執筆に向けて、受講生個別の研究テーマを明確にし、リサーチ・デザインを検討します。受講生は、共通課題と個人課題の2つを関連させながら、2025年8月の最終論文提出に向けてマイルストーンを設定し、論文作成に取り組みます。

### 2. 授業のスケジュール

2025年8月の専門職学位論文提出に向けて、マイルストーンを設定し論文作成に取り組みます。まず、なぜその課題（テーマ）に取り組みたいのか、何を明らかにしたいのかという問いに向き合います。テーマの設定に関しては、受講生が持っている問題意識を大切にしていって問いかけてください。次に、そのテーマは、これまでに学術研究として、どのような視点で研究や分析が行われているのか、すなわち、何が明らかになって、何が明らかになっていないのかを検討します。さらに、そのテーマに関連するアンケート調査やインタビュー調査などのデータ収集や分析を通して、解決すべき課題はどこにあるかを明確にします。このプロセスを受講生全体で議論しながら進めていきます。

なお、最終原稿提出までのマイルストーンとして、1次原稿の提出（2025年5月）、改訂版原稿の提出（2025年7月）、最終原稿の提出（2025年8月）を想定しています。2024年度のスケジュールは以下のとおりです。

### [第1回] 9月14日（土）1・2限

#### イントロダクション

- (1) 担当教員および協力教員の紹介
- (2) 現代経営学演習の目的と進め方の説明

(3) 専門職学位論文として取り組みたいテーマに関する報告

①何を明らかにしたいのか、②なぜそれに関心があるのか、③どのようにして明らかにするのか、④どのような意義や研究成果が期待できるのか、の4点をスライドにまとめて報告してください。ご自身のバックグラウンドを含めた自己紹介のスライドも1枚含めてください。(受講生全員発表：発表5分、コメント5分)

※3-5限は、M2 修士論文報告会（ポスターセッション）にご参加ください。修士論文のポスター発表から、リサーチ・クエスションの立て方、研究アプローチ、研究成果からの示唆の導出について学びます。

【論文執筆に関する課題図書】

伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐社、2001年。

**[第2回] 10月12日(土) 1~5限**

共通課題：オープンイノベーション、個人課題：先行研究レビュー

(1) 専門職学位論文として取り組みたいテーマに関する報告 (1~4限)

ご自身の研究を進める上で参考になる先行研究を探索し、レビューして下さい。①先行研究は何をどのような方法で明らかにしているか、②先行研究が十分に明らかにできていない点は何か、の2点を15分の報告スライドにまとめて報告してください

(受講生全員発表：発表15分、コメント10分)

(2) 共通課題についての議論 (5限)

「オープンイノベーションの実践(仮)」をテーマに、ゲスト講師の講演と議論を行います。

【論文執筆に関する課題図書】

田村正紀『リサーチ・デザイン』白桃書房、2006年。

**[第3回] 12月7日(土) 1~5限**

共通課題：大企業とイノベーション、個人課題：データと分析方法

(1) 専門職学位論文として取り組みたいテーマに関する報告 (1~4限)

ご自身の研究テーマに関して、①どのようなデータを用いて研究を進めるか。②どのような分析手法で研究テーマに取り組むか、の2点を15分の報告スライドにまとめて報告してください。

(受講生全員発表：発表15分、コメント10分)

(2) 共通課題についての議論 (5限)

「大企業におけるイノベーションの創出(仮)」をテーマに、ゲスト講師の講演と議論

を行います。

**【論文執筆に関する課題図書】**

明石芳彦『社会科学系論文の書き方』ミネルヴァ書房、2018年。

**[第4回] 2月15日(土) 1~5限**

共通課題：中小企業とイノベーション、個人課題：リサーチ・デザイン

(1) 専門職学位論文として取り組みたいテーマに関する報告 (1~4限)

先行研究に基づき設定した研究テーマについて、リサーチ・デザインを設計するとともに、分析結果の概要(途中経過)を15分の報告スライドにまとめて報告下さい。

(受講生全員発表：発表15分、コメント10分)

(2) 共通課題についての議論 (5限)

「中小企業におけるイノベーションの創出(仮)」をテーマに、ゲスト講師の講演と議論を行います。

3. その他

皆さんが社会人として実務に携わる中で、自分自身が強く感じる問題意識をもとに、自分は何がしたいのか、何を解決したいのかということを常に意識して、研究を進めてください。そのうえで、皆さんの実務に役立つ具体的な提言やそのためのアクションプランを導出するような修士論文を目指して欲しいと思います。

アントレプレナーシップやイノベーションをテーマとするゼミですので、あらゆることに企業家精神を持って取り組むとともに、他の受講生の研究に関心を持ち、積極的にコメントし、チームプレーヤーとしてゼミ全体に貢献していただくことを望みます。担当教員は、大企業・中小企業・スタートアップのイノベーション創出を長らく実践・支援してきましたので、実践面からの議論ができることも楽しみにしています。

以上